別紙２－２

省人化建設機械（チルトローテータ）試行工事（ICT 活用工事対象工種）積算要領

１．適用範囲

本積算要領は省人化建設機械（チルトローテータ）試行工事のうち、実施要領２－２に示す工種を実施する場合に適用するものとする。

なお、本資料は省人化建設機械（チルトローテータ）試行工事のための暫定的なものであることに留意されたい。

２．積算方法

発注方式は、施工者希望型とし、当初発注時の計上は行わない。受注者からの協議により省人化建設機械（チルトローテータ）による施工を実施する場合、設計変更の対象とし、以下に示す方法によりそれぞれ計上する。

＜基本的な考え方＞

ＩＣＴ活用工事積算要領における機械経費の内、損料又は賃料の対象として施工歩掛上設定されている機械規格を省人化建設機械(チルトローテータ)相当の機械規格に入れ替えるものとし、以下の表のとおり機械の損料又は賃料を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料に差し替える。

また、その他のＩＣＴ建設機械経費加算額、システム初期費、３次元起工測量・３次元設計データの作成費用、３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用等はそれぞれの ICT 活用工事積算要領に従うものとする。

なお、入れ替え後の省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料及び、入れ替え後の施工パッケージ型積算方式標準単価表については別途示すものとする。

※「平均施工幅２ｍ以上の土砂の掘削等である床掘り」及び「平均施工幅１ｍ以上２ｍ未満の土砂の掘削等である床掘り」については、土木工事標準積算基準書（もしくは施工パッケージ型積算基準）上設定されている代表機労材 （機械）の規格を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械規格に入れ替えるものとする（後述）

機械規格の入替対応表

対象工種・条件	入れ替え対象の機械規格	省人化建設機械（チルトローテータ） 相当の規格
ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘工）） 平均施工幅２ｍ以上の土砂の掘削等である床掘り	バックホウ（クローラ型） 標準型・ＩＣＴ施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・ 排出ガス対策型(2014 年規制) バケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t	バックホウ(クローラ型) 標準型･ＩＣＴ施工対応型･超低騒音型･クレーン機能付き･排出ガス対策型(2014 年規制)・チルトローテータ直付け バケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t
ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘工）） 平均施工幅１ｍ以上２ｍ未満の土砂の掘削等である床掘り	後方超小旋回型・ＩＣＴ施工対応型・クレーン機能付き・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）バケット容量 0.5m3 吊能力 2.9t	標準型･ICT 施工対応型･超低騒音型･クレーン機能付･排出ガス対策型(2014 年規制)・チルトローテータ直付け バケット容量 0.5m3・吊能力 2.9t
ＩＣＴ活用工事（作業土工（床掘工）） 平均施工幅１ｍ未満の土砂の掘削等である床掘り	バックホウ（クローラ型） 後方超小旋回型 ・排出ガス対策型（第２次基準値） バケット容量 0.28m3	バックホウ（クローラ型） 超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第２基準値) バケット容量 0.28m3 チルトローテータ直付け

「平均施工幅２ｍ以上の土砂の掘削等である床掘り」及び「平均施工幅１ｍ以上２ｍ未満の土砂の掘削等である床掘り」について

「平均施工幅２ｍ以上の土砂の掘削等である床掘り」及び「平均施工幅１ｍ以上２ｍ未満の土砂の掘削等である床掘り」については「土木工事標準積算基準書（共通編）（もしくは施工パッケージ型積算基準)」に記載されてい る以下の表の赤字で示す機械規格をそれぞれ省人化建設機械（チルトローテータ）相当規格に入れ替えるものとし、機械の損料又は賃料を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料に差し替える。なお、省人化建設機械（チルトローテータ）の機械損料は別紙３の通りとする。

表3．2　床掘り(ICT)　代表機労材規格一覧

施工方法	項目		代表機労材規格	備考
標準	機械	Ｋ１	**バックホウ（クローラ型）[標準型・ＩＣＴ施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014 年規制)] バケット容量 0.8m3 吊能力 2.9t**	・賃料
		Ｋ２	ＩＣＴ建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ＩＣＴ施工対応型))	・賃料
		Ｋ３	－	
	労務	Ｒ１	運転手（特殊）	
		Ｒ２	普通作業員	
		Ｒ３	－	
		Ｒ４	－	
	材料	Ｚ１	軽油　パトロール給油	
		Ｚ２	－	
		Ｚ３	－	
		Ｚ４	－	
	市場単価	Ｓ	－	
平均施工幅 1m 以上 2m 未満	機械	Ｋ１	**バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・ＩＣＴ施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014 年規制)] バケット容量 0.5m3 吊能力 2.9t**	・賃料
		Ｋ２	ＩＣＴ建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ＩＣＴ施工対応型))	・賃料
		Ｋ３	－	
	労務	Ｒ１	運転手（特殊）	
		Ｒ２	普通作業員	
		Ｒ３	－	
		Ｒ４	－	
	材料	Ｚ１	軽油　パトロール給油	
		Ｚ２	－	
		Ｚ３	－	
		Ｚ４	－	
	市場単価	Ｓ	－	

（注）ＩＣＴ建設機械経費賃料加算額（バックホウ（ＩＣＴ施工対応型)）は，地上の基準局・管理局の賃貸費用である。

＜参考＞　ＩＣＴ作業土工（床掘工）　適用範囲

項目		代表機労材規格	施工方法						備考
			標準	平均施工幅 1m 以上 2m 未満	掘削深さ 5m 超 20m 以下	掘削深さ 20m 超	左記以外（小規模）	現場制約あり	
機械		バックホウ（クローラ型）［標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）］山積 0.8m3（平積 0.6m3）	○						賃料
		バックホウ（クローラ型）［後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）］山積 0.45m3（平積 0.35m3）		○					賃料
	K1	バックホウ（クローラ型）［後方超小旋回型・排出ガス対策型（第２次基準値）］山積 0.28m3（平積 0.2m3）					○		
		クラムシェル［油圧ロープ式・クローラ型］平積 0.8m3				○			
		クラムシェル［油圧クラムシェル・テレスコピック式］平積 0.4m3			○				
	K2	小型バックホウ（クローラ型）［標準型・排出ガス対策型（第１次基準値）］山積 0.08m3（平積 0.06m3）			◎	○			
	K3	－							
労務	R1	運転手（特殊）	○	○	○	○	○		
	R2	普通作業員	△	△	○	○	○	○	
	R3	特殊作業員			◎	○			
	R4	－							
材料	Z1	軽油　パトロール給油	○	○	○	○	○		
	Z2	－							
	Z3	－							
	Z4	－							
市場単価	S	－							

※◎：障害有りの場合，△：土留方式無し以外の場合